

国道3号千早・名島地区における道路空間の構築(1/3)

検討テーマ

- (1) 狭隘な歩道幅員を考慮した地上機器の設置位置の変更
- (2) 柱体式地上機器の活用

事業名:国道3号千早・名島地区電線共同溝事業			
路線名	国道3号(福岡県福岡市)		
事務所名	福岡国道事務所		
実施年度	平成29年度~施工中		
事業箇所	福岡県福岡市千早・名島地区		
事業延長	無電柱化区間:約2.3km 自転車通行空間整備区間:約2.0km		
検討区間 の概要	検討区間としては、国道3 号香椎参道口交差点から名島橋東交差点間の自転車通行空間整備区間の約2.0km が対象である(当該検討区間は電線共同溝工事も合わせて実施)。 検討区間は、沿道に学校や病院、商業施設等が隙間無く立地し、自転車と歩行者の交通量が約3,400台・人/12hと多い状況であり(自転車:1,600台/12h、歩行者1,800人/12h)、自転車と歩行者も混在しており、特に上り線側の歩道は狭いため、自転車と歩行者のすれ違いが厳しい状況であった。一方で、車道部は6車線に約70,000~80,000台/日と九州屈指の幹線道路であり自動車交通量も多く、自転車に対する対策が必要であった。無電柱化の際に設置される地上機器の歩行空間等への阻害を軽減する方法を検討し、十分な自転車通行空間や歩行空間の確保について検討を実施。		

位置図

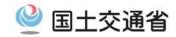


整備前の状況



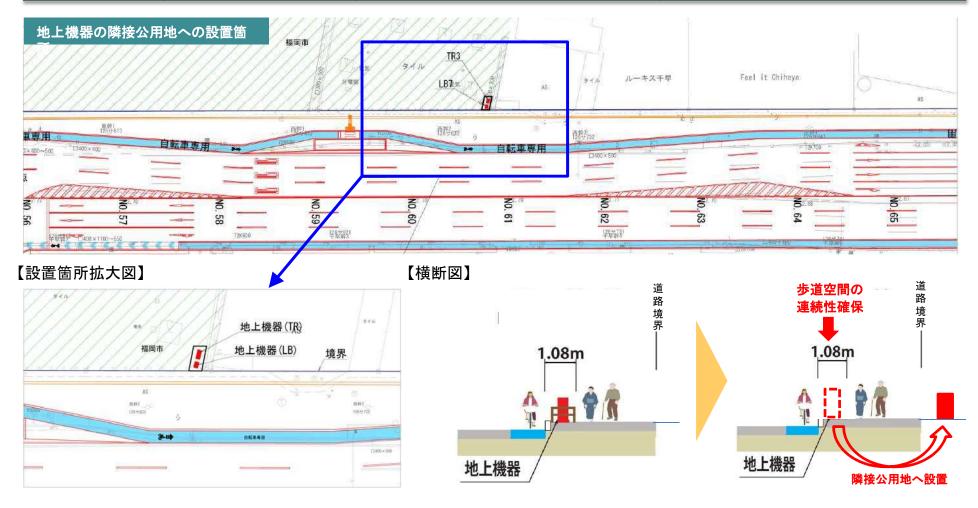


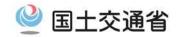
(1)無電柱化デザイン



国道3号千早・名島地区における道路空間の構築(2/3)

検討テーマ	課題	改善策・検討内容等	対応策
地上機器の 設置位置の変更	歩道空間の連続性の 確保	・ 地上機器の設置位置について、道路 用地外へ移設することにより、歩道 空間の連続性の確保が可能	・地上機器を隣接公園用地(福岡市所有)への設置により、歩道空間の連続性を確保





国道3号千早・名島地区における道路空間の構築(3/3)

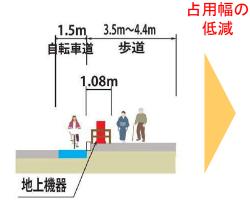
検討テーマ	課題	改善策・検討内容等	対応策
柱体式地上機器 の活用	・ 歩道空間の連続性の 確保	・ 歩行空間確保のため、柱体式地上機 器の活用を検討	・柱体式地上機器の活用により、歩道へ の占用物件の削減及び占有幅を低減し 歩行空間を確保

柱体式地上機器





地上機器(通常方式)



地上機器(柱体式)

低減

